

2023年3月期 第3四半期 決算補足資料

2023年2月7日

京阪ホールディングス株式会社

(東証プライム市場 9045 <https://www.keihan-holdings.co.jp/>)

2023年3月期 第3四半期

決算の概要

連結損益計算書

- 不動産業で前年同期の開発案件販売の反動があったものの、緊急事態宣言発出の影響を受けた前年同期と比べ、レジャー・サービス業や運輸業において回復が見られたことなどにより、増収となり、営業利益、経常利益も増益。さらに、固定資産売却益の増加もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期を大きく上回りました。

(単位：百万円)

	2023/3 3Q実績	2022/3 3Q実績	増減	増減要因
営業収益	181,323	179,032	2,290 (1.3%)	
営業利益	17,474	8,851	8,622 (97.4%)	
営業外収益	2,067	3,753	△1,686	雇用調整助成金△1,002、 新型コロナウイルス感染症対策補助金△802
営業外費用	1,766	2,124	△358	
経常利益	17,775	10,480	7,294 (69.6%)	
特別利益	7,307	2,239	5,068	固定資産売却益+4,392、受取補償金+1,833、 投資有価証券売却益△1,000
特別損失	1,363	1,279	83	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,301	5,896	10,404 (176.4%)	
受取利息及び配当金	527	454	72	
支払利息	1,420	1,525	△104	
金融収支	△893	△1,070	176	

セグメント情報

(単位：百万円)

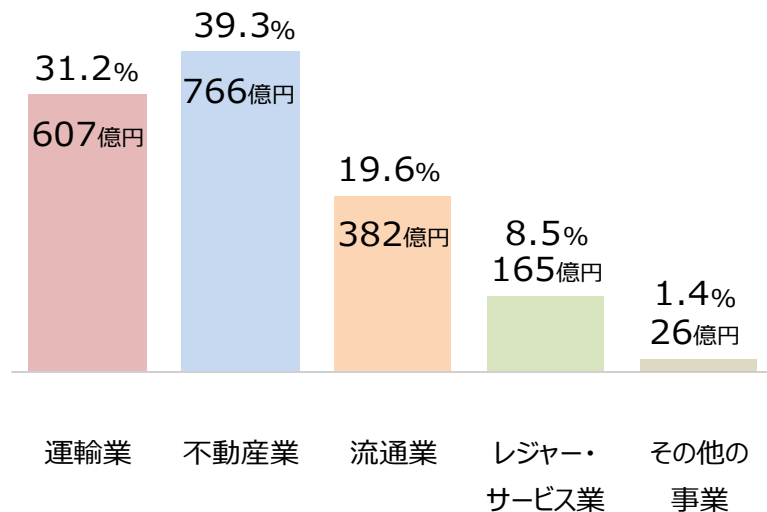
		2023/3 3Q実績	2022/3 3Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	営 業 収 益	60,734	53,068	7,666	14.4%
	営 業 利 益	6,370	168	6,202	—
不 動 産 業	営 業 収 益	76,618	87,612	△10,993	△12.5%
	営 業 利 益	13,362	14,690	△1,328	△9.0%
流 通 業	営 業 収 益	38,228	40,758	△2,529	△6.2%
	営 業 利 益	1,509	1,398	111	8.0%
レジャー・サービス業	営 業 収 益	16,545	8,494	8,051	94.8%
	営 業 利 益	△2,606	△6,753	4,146	—
その他の事業	営 業 収 益	2,676	2,320	356	15.3%
	営 業 利 益	△915	△1,016	101	—
全 社 ・ 消 去	営 業 収 益	△13,481	△13,222	△259	—
	営 業 利 益	△247	363	△610	—

セグメント情報（構成）

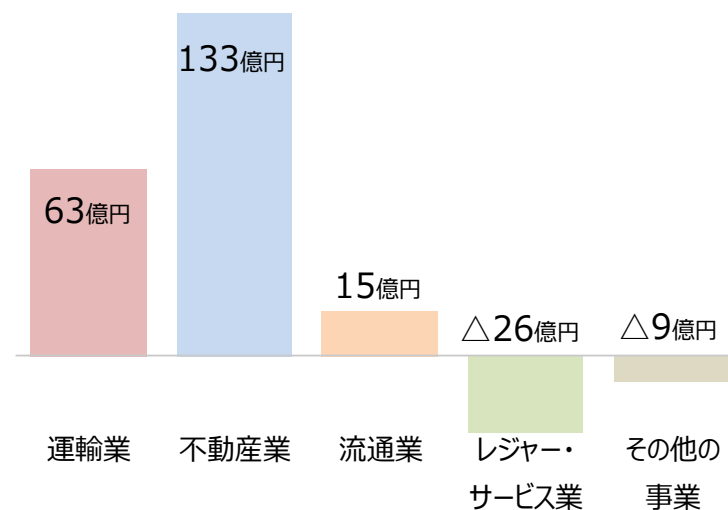
【連結対象会社】39社（対前年同期 2社減）【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他6社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、ビオ・マーケット
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
その他の事業	ビオスタイル、京阪カード

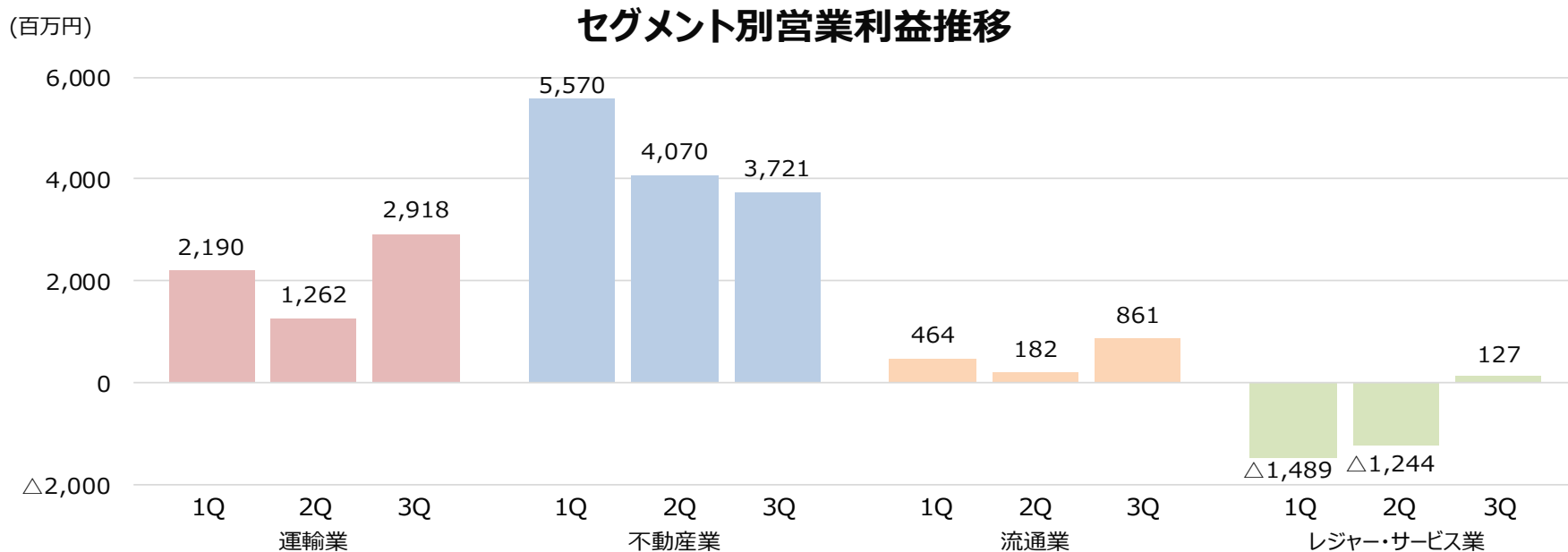
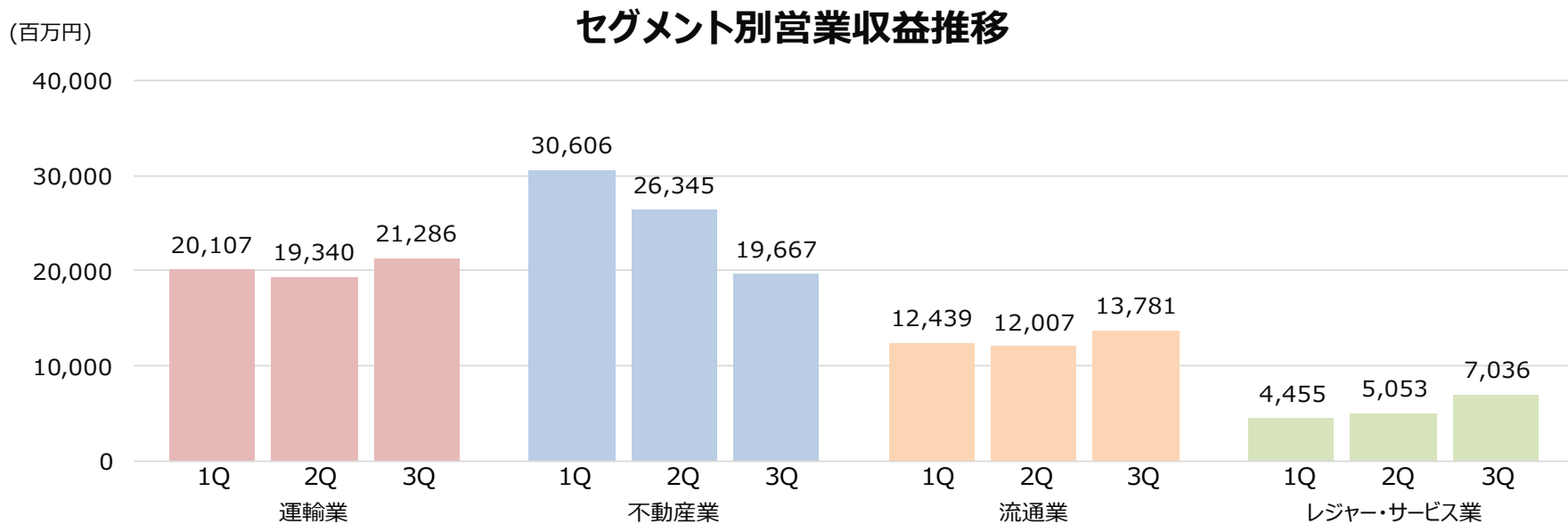
<セグメント別営業収益>



<セグメント別営業利益>



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額であります。％は各セグメントの構成比を表しております。



セグメント情報（運輸業）

(単位：百万円)

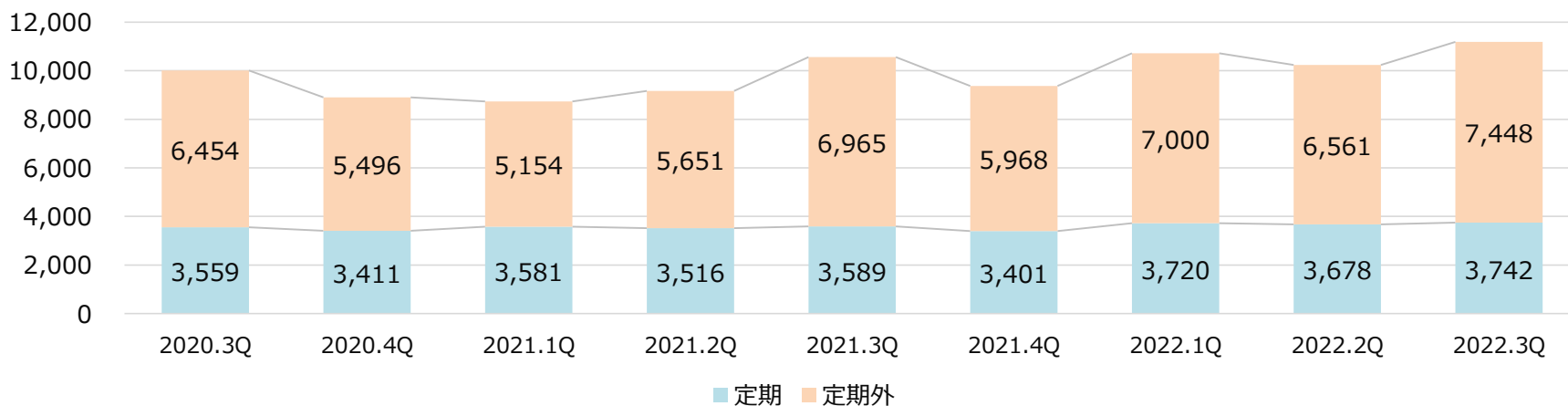
		2023/3 3Q実績	2022/3 3Q実績	増減額	増減率
営	業 収 益	60,734	53,068	7,666	14.4%
	鉄 道 事 業	49,211	43,588	5,622	12.9%
	バ ス 事 業	17,084	14,839	2,245	15.1%
	消 去	△5,561	△5,360	△200	—
営	業 利 益	6,370	168	6,202	—
	鉄 道 事 業	5,085	527	4,558	864.4%
	バ ス 事 業	1,285	△355	1,640	—
	消 去	△0	△3	2	—

（主な増減要因）

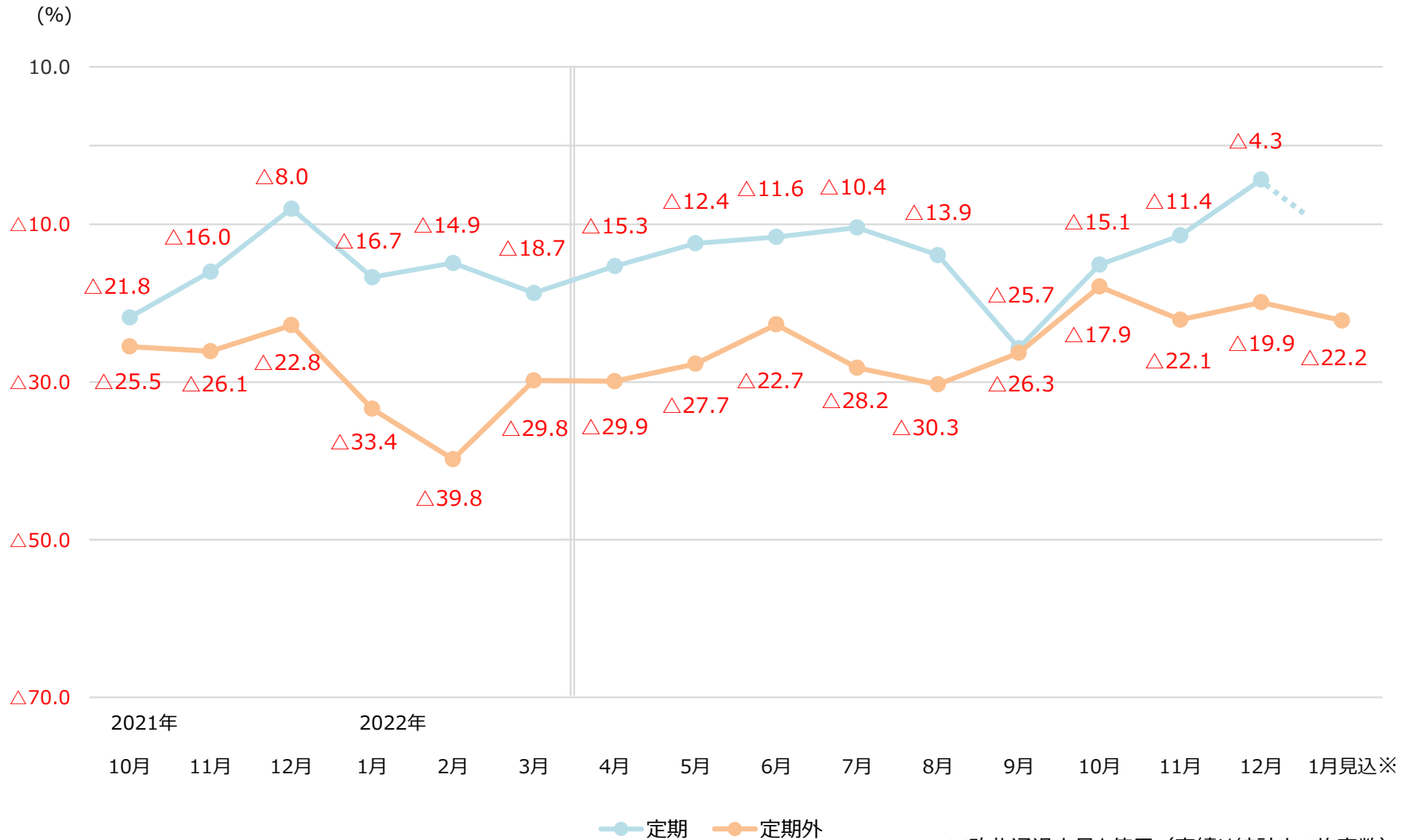
- ・ 鉄道事業は、緊急事態宣言が発出された前年同期と比較して輸送人員が増加したことなどにより、増収・増益。
- ・ バス事業は、緊急事態宣言が発出された前年同期と比較して乗合収入が増加したことなどにより、増収・増益。

		2023/3 3Q実績	2022/3 3Q実績	増減	増減率
		百万円	百万円	百万円	%
旅 客 収 入		32,149	28,465	3,683	12.9
	定 期 外	21,009	17,770	3,239	18.2
	定 期	11,140	10,695	444	4.2
		千人	千人	千人	%
旅 客 数		183,838	166,544	17,293	10.4
	定 期 外	85,307	73,178	12,129	16.6
	定 期	98,530	93,366	5,163	5.5

旅客収入の推移 (百万円)



旅客数 対2019年比



※改札通過人員を使用 (実績は統計上の旅客数)

セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

		2023/3 3Q実績	2022/3 3Q実績	増減額	増減率						
営	業	収	益	76,618	87,612	△10,993	△12.5%				
	不	動	産	事	業	66,350	75,962	△9,611	△12.7%		
		不	動	産	販	売	業	42,647	53,249	△10,601	△19.9%
		不	動	産	賃	貸	業	20,522	19,645	877	4.5%
		そ	の	他		3,180	3,067	113	3.7%		
	建	設	事	業		15,404	16,940	△1,535	△9.1%		
	消	去				△5,136	△5,289	153	—		
営	業	利	益	13,362	14,690	△1,328	△9.0%				
	不	動	産	事	業	13,382	15,790	△2,407	△15.2%		
		不	動	産	販	売	業	3,519	6,269	△2,750	△43.9%
		不	動	産	賃	貸	業	9,511	9,147	364	4.0%
		そ	の	他		351	373	△21	△5.8%		
	建	設	事	業		140	26	113	424.1%		
	消	去				△161	△1,125	964	—		

（主な増減要因）

- 不動産販売業は、「ファインレジデンス新百合ヶ丘」や「ザ・ファインタワー大手前」などマンション販売の増加はあるものの、前年同期の開発案件販売の反動が大きく、減収・減益。
- 不動産賃貸業は、不動産ファンド収入の増加などにより、増収・増益。

セグメント情報（流通業）

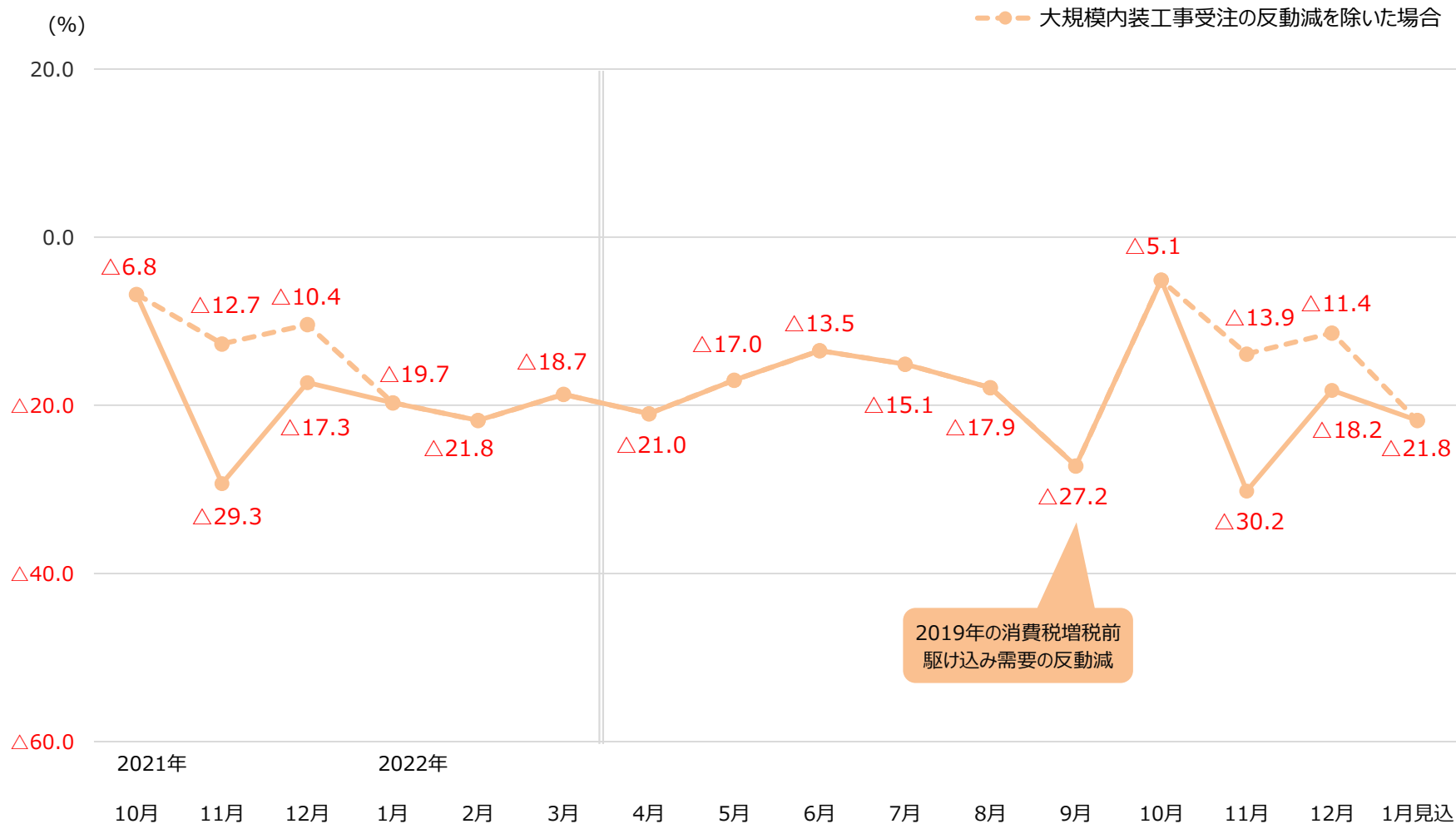
（単位：百万円）

	2023/3 3Q実績	2022/3 3Q実績	増減額	増減率
営業収益	38,228	40,758	△2,529	△6.2%
百貨店業	15,145	15,115	30	0.2%
ストア業	11,283	13,262	△1,979	△14.9%
ショッピングモールの経営	9,579	9,064	514	5.7%
その他	3,331	4,439	△1,108	△25.0%
消去	△1,110	△1,123	13	—
営業利益	1,509	1,398	111	8.0%
百貨店業	△110	△158	48	—
ストア業	412	614	△201	△32.8%
ショッピングモールの経営	1,061	883	178	20.2%
その他	142	51	90	175.8%
消去	2	7	△4	—

（主な増減要因）

- 百貨店業やショッピングモールの経営は、緊急事態宣言が発出された前年同期の休業や時短営業の影響の反動により、増収・増益。
- ストア業は、前年同期の新型コロナウイルスの影響の反動はあるものの、京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業に伴い前年12月に閉店したフレスト香里園店の影響などにより、減収・減益。

百貨店業（京阪百貨店） 営業収益 対2019年比



※収益認識会計基準適用前の営業収益による比較

セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

	2023/3 3Q実績	2022/3 3Q実績	増減額	増減率
営業収益	16,545	8,494	8,051	94.8%
ホテル事業	14,307	6,837	7,469	109.2%
レジャー事業	2,259	1,673	585	35.0%
消去	△20	△16	△3	－
営業利益	△2,606	△6,753	4,146	－
ホテル事業	△2,684	△6,543	3,859	－
レジャー事業	63	△223	286	－
消去	14	13	0	－

ホテル稼働率

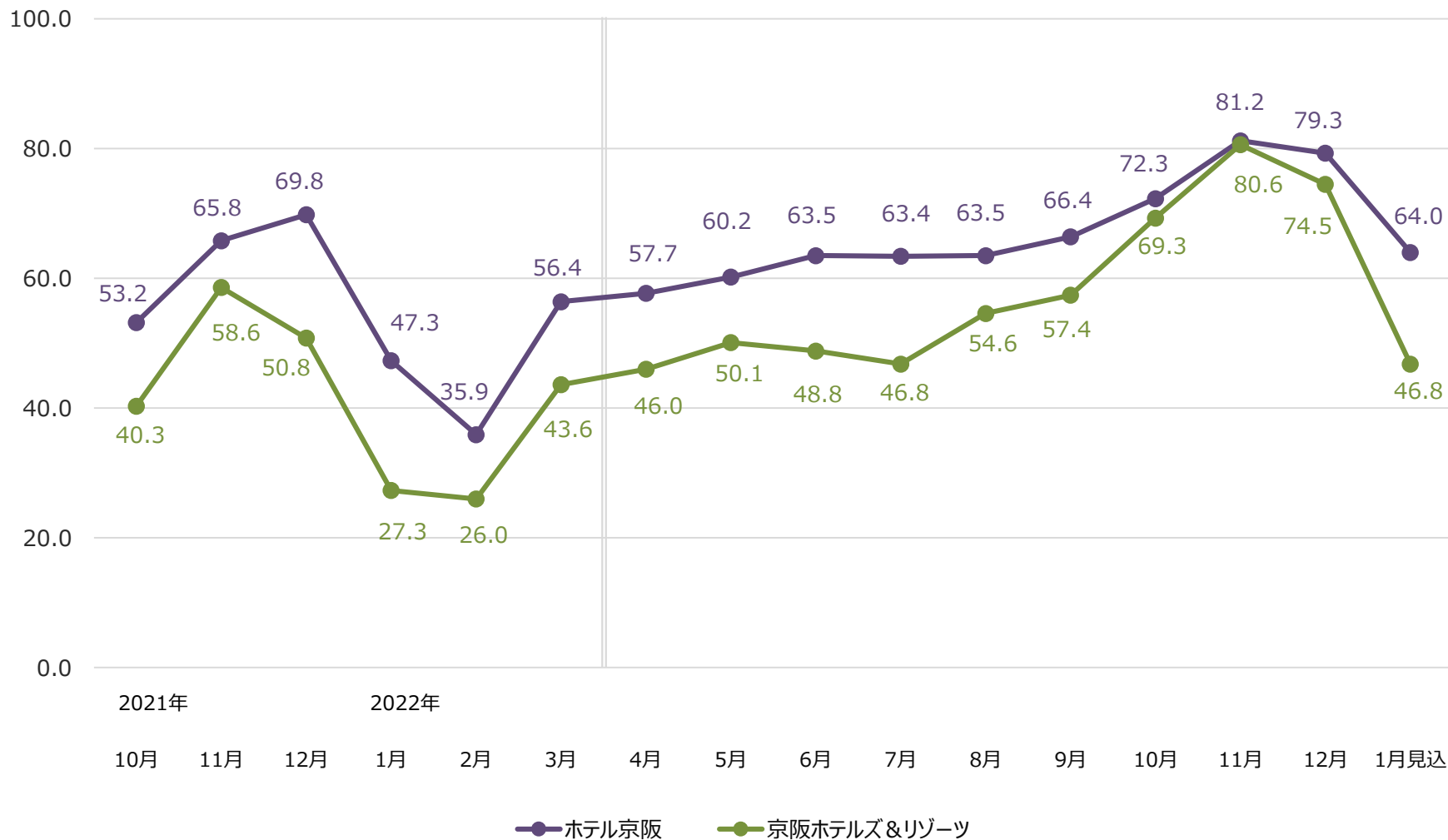
	2023/3 3Q実績	2022/3 3Q実績	増減
ホテル京阪	68.2%	39.7%	28.5pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	58.7%	30.3%	28.4pt

（主な増減要因）

- ・ ホテル事業は、緊急事態宣言が発出された前年同期の休業や営業規模縮小の影響の反動などにより、増収・増益。
- ・ レジャー事業は、緊急事態宣言が発出された前年同期の営業規模縮小の影響の反動などにより、増収・増益。

ホテル事業 客室稼働率

(%)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023/3 3Q実績	2022/3 実績	増減額	増減要因
流動資産	209,309	186,794	22,514	販売土地及び建物+22,018
固定資産	547,575	550,466	△2,890	建物及び構築物△5,868、 建設仮勘定+3,108
資産合計	756,884	737,261	19,623	
流動負債	146,043	127,477	18,565	1年内償還予定の社債+10,000、 短期社債+4,000
固定負債	339,337	353,907	△14,570	社債△20,000、 長期借入金+5,572
負債合計	485,380	481,384	3,995	
純資産	271,504	255,876	15,627	利益剰余金+13,660 ※自己資本比率35.2% (+1.1pt)
負債純資産合計	756,884	737,261	19,623	
有利子負債	347,805	345,311	2,493	借入金+8,493、短期社債+4,000、 社債△10,000



京阪ホールディングス株式会社

グループ管理室経理部

TEL 06-6944-2527